

# 掃水夏まつり



★日程 7月31日(土) 小雨決行 17時～  
 実施決定は、当日の朝7時に花火を打ち上げます  
 打ち上げ場所は、豊原町志のご(伊賀町の北、近鉄線との間)  
 雨天の場合は、8月1日(日)とし、それ以降は中止とします。  
 ★会場 掃水小学校運動場

## ★スケジュール

- ◇ 夜店 17時～20時30分ごろ(売り切れ次第終了)
- ◇ 演技発表 17時～19時20分ごろ
- ◇ 盆おどり(小学生) 19時30分～19時50分ごろ
- ◇ 盆おどり(一般) 20時00分～21時45分ごろ
- ◇ 抽選受付 19時～20時30分(本部席に投票箱を設置)
- ◇ 抽選発表 21時50分ごろ
- ◇ 賞品引き渡し 22時00分～22時30分ごろ(プール前)  
以後23時まで市民センターにて引き換え可能

## ★演技発表のプログラム

工夫を加えました!時間の15分前にはご集合ください。

詩吟(小学生)	17:00～17:10
健康体操	17:10～17:25
つくし保育園	17:25～17:35
掃水幼稚園	17:35～17:45
保育園、幼稚園合同	17:45～17:55
休憩	17:55～18:05
明和太鼓	18:05～18:35
キッズダンス	18:35～18:50
しょうがいソーラン	18:50～19:20

## 七月の行事予定

夏まつり踊り練習
7月22(木)、26(月)、28日(水)
19時30分～
場所 掃水小学校グラウンド
掃水夏まつり
7月31日(土)・雨天1日(日)
17時～
場所 掃水小学校グラウンド



当日券は本部席にて販売いたしますが、数に限りがあります。早めにご予約ください。  
**今年も、ゴミ回収の力を貸してください。皆さん、ゴミの分別にご協力をお願いします。**

## 資源ごみ回収の 変化と意識改革

6月2日に松阪市の清掃政策課より掃水まちづくり協議会に「これからの資源ごみの回収」について方針説明がありました。その要点は次の二つです。  
 1、平成23年度より松阪市の指定袋の導入が始まるということ。  
 松阪市の現状として

- ① 一般ごみとして、禁止されているルールを守らず黒いビニールやダンボールなどの中の見えないものを入れて出しているのが多くあること。
  - ② 一般ごみの中に紙類が40%、プラスチック類が15%、生ごみ20%が混入しているという状況。
- この二つの現状を改善する



平成22年7月19日  
 掃水まちづくり協議会  
 49号

前売りチケットの引き換え時間は20時までです。早めに引き換えましょう。過ぎると当日もそれ以降も無効になりますので注意して下さい。

## ★夜店の種類

おにぎり・焼きそば	山添町
綿菓子	清水町、菅生町
かき氷	伊賀町
冷やしぜんざい	はつらつクラブ
金魚すくい	商工会
輪なげ・スーパーボール・ヨーヨー風船	安楽町、山下町
フランクフルト・とうもろこし	櫛田町
カステラアイス	みどり苑
ポップコーン・駄菓子・くじ等	豊原町

※お帰りについて  
 ○お帰り用バスは、21時30分以降、各到着場所より随時運行します。  
 ※駐車場について  
 ○農協本店、第三銀行櫛田支店のみにあります。  
 (障害者マーク場所・ATMコーナー前には止めないでください)  
**注意** 森山薬局さん・センター前の道路には、止めないでください!  
 駐車場が少ないので種力、徒歩、自転車等でお越し下さい!

ために松阪市は指定袋の導入し、一般ごみのルールの厳格化とごみ分別の強化を図り、ひいては一般ごみの量を少なくしようとしています。中が見えないもので出されている物は今後回収しないとのことや、一般ごみの中の紙類など分別を徹底して欲しいことを訴えています。

### 2、月2回の資源ごみ回収をできる自治会から実施するということ。

市は、できるだけ早く月2回の回収の実施をすることによって、少しでもごみの分別を促し、また家庭でのごみ処理の場所を軽減するなど資源ごみを出しやすくし、一般ごみの量を減らすことをねらっています。また市は実施について、少しでも早く、できる自治会からでも実施したい意向です。これを受けて排水まちづくり協議会では、自治会の事情もあがり一律に全地域とはいきませんが、役員会でも良く話し合い、手を挙げる自治会から実施したいと考えています。

以上のように、松阪市のごみ回収への考え方は大きく変化しています。私たち自治会にはこれを機会に、資源ごみの月2回収取、ごみ分別やルールの徹底

について再度検討が求められています。このことはとりもなおさず、自治会を構成する皆様お一人お一人のご負担にもなつてきます。でも、一方で自分たちの出す一般ごみの中味は今のままでよいのか、分別の強化の必要はないのかなど、また回収当番についても特定の人だけに当番を任せるのではなく、どの世帯も等しく当番に参加することなどの再検討が迫られています。今、ごみを出す一人ひとりの意識改革がいろいろ求められています。各自治会、各町内、各組で真摯な話し合いをお願いします。

シリーズ自治会だより (三)

**地域力に  
元気をもらって**

榊田町 小西信久

榊田町自治会長を仰せつかり3ヶ月が過ぎました。自治会長と呼ばれてもピンと来なかった着任当初から、三百五十二戸への情報の伝達や要望事項の対応に、気の抜けない日々を送っています。そんな中でも嬉しい慶ばしい事もいろいろ感じさせて貰っております。

四月二十九日に春の叙勲を授章されました松本美一様。その

お祝いとその榮譽を皆であやころうと地区民で開いた祝賀会でした。地域の為、みんなの為に献身されて授章された榮譽ですが、松本氏は『皆さんのお蔭です、地域への感謝の気持ちでいっぱいです。』とおっしゃるそのお気持ちを榊田地区の皆さんに発信できたことを嬉しく思っております。



次に五月二十九日の排水地区市民体育祭です。地区対抗競技で榊田C総合優勝、榊田Bの第四位と榊田地区の好成績に皆で声を掛け合い力を合わせることで地域力を感じたことです。それと団体種目の松阪しよんが音頭です。この市民体育祭に良く定着してくれたと感動しました。始まりの先生によるこの踊りの紹介もすばらしく、小学生みんなの輪に地域の人の輪、大きな輪になっての踊りでした。末長く続く踊りであって欲しいと念

じつつ、はやしながら胸を熱くしたひとときでした。この様な大きな喜びや嬉しい思いができれば、この地域の皆さんとのふれあいのおかげだと思っています。これからもこの榊田地区、排水校区がより良い地域となつて行くことを願っております。

「四国八十八ヶ所霊場  
歩き遍路」物語 (五)

豊原町 岩塚 章

思えば人生七十年、波瀾万丈の歩みであった。良い人間になつたり、悪い人間になつたりあまり褒められた人生ではなかった。今さらしがらみを拭いたくて四国八十八ヶ所霊場歩き遍路に出たつて幾重にも重なりあつて

いる人生の埃を取り去ることは出来ないだろうが、これから四国一周一三〇〇キロ歩き通せたら何がしかの、いや何かをこの体に少しでも善という御仏のお教えを悟つて松阪に帰り着くことが出来ないか。一周四十七日かかって歩き通せた時、身に付いたものは、歩き遍路無事終つたと、皆さんに報告できるのでは：我ながら甘い考えで四国第一番霊山寺の御仏に「道中無事に」この祈りの般若心経を誦え合掌するのであった。

松阪を早朝出発一番でお参りし寺務所備えてあつた「歩き遍路出発日、住所、氏名」など記入、いよいよ明日から全周二百三十万歩の第一歩を民宿玄関から踏み出すのである。

「お遍路の岩塚さんそのリュックの重さでは四国全周は歩けませんよ。お見上げするところ所十キロはあるでしょう。七キロまで減らしなさい。悪いことは言わないから」

民宿の主に言われた。何十年と歩き遍路さんを見てこられたお方。三キロ何で減らしたらよいか。どれ一つ減らす物が無い。「ご本人にしてみれば、あれもこれも必要な品と思うでしょうが、私が体験と鬼になつて減らすお手伝いをしましょう」

まず減らされた品、何としてもこの修行旅に必要と持つて来たカメラの三脚。決して自分では減らす勇氣のない三脚だ。断腸の思いでリュックから出されるのを見ていた。あれもこれも次から次へとバックから出された。「さあこれでよし。私を今は鬼と思つていてください。三番まで行くと「あの主の言われることは」と感謝の気持ちに変わりますよ」

早朝七時はるか遠い四国の道の第一歩を踏み出した。